

# 福祉心理士会 第12回全国大会（研修会・総会）のご案内

## 『つなぐ実践者としての福祉心理士の基盤』

### ご挨拶

学会員の皆様、福祉心理士の皆様、日頃より本会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今回の研修会は、学会の法人化を機に、今後の福祉心理士および福祉心理士会のあり方について考える機会として企画いたしました。福祉心理士会会員に限らず、学会員の皆様にも広くご参加いただけます。

加えて、お昼からの総会においては、今後の福祉心理士会の方向性を検討する場にもなりますので、多くの福祉心理士の皆様にご参加いただきたくお願い申し上げます。年に一度の対面での交流の機会として、福祉心理士会の発展や今後の活動について意見交換ができれば幸いです。資格更新用ポイントが付与されます（証明書等はございません；ポイントについては「福祉心理士資格更新手続き」参照）。

福祉心理士会副会長 米川和雄

### 第1部 研修会 日時 2026年8月9日（日）10:30～12:00

会場 大会議室（予定） 受付 10:15～

#### 柏女霊峰先生 「当事者・制度・専門を結び、生活を支えるための福祉心理学の展望」

福祉心理学と国の政策・制度との関係についてご示唆をいただき、それを専門的基盤とする福祉心理士、ならびに福祉心理学を専門基盤の一つとする学会員がこれからの方向性を検討する機会にしたいと考えております。

#### 金城 悟先生 「福祉心理士が持つべき矜持とはなにか」

特別委員会の設置や昨年度の福祉心理士会に対する質疑などを踏まえ、学会運営および福祉心理士制度（准福祉心理士を含む）について深い知見を有し、常に客観的な立場からご助言をいただいている金城先生に、これからの福祉心理士及び福祉心理士会のあり方を考えるための示唆をいただきたいと考えております。

#### 米川和雄 「福祉心理士が持つべき福祉の専門性の基盤とはなにか」

福祉心理士会側から、（これまでの経緯も踏まえ）福祉心理士に求められる専門性の基盤となる知識や技能についてお伝えし、福祉心理士のあるべき方向について検討する機会を持ちたいと考えております。

### 第2部 総会 日時 2026年8月9日（日）12:00～13:00

福祉心理士の皆様にぜひご参加いただきたい総会です。学会の法人化を踏まえ、今後の福祉心理士会の方向性について意見交換を行う機会としたいと考えております。本総会には多くの福祉心理士の皆様のご参加をお待ちしております。福祉心理士取得を考えている学会員の皆様のご見学等も歓迎しております。※必要により延長いたします。

### 参加申込方法 当日会場にお越しください